

別府市立学校における 食育推進計画の策定について

令和4年8月26日(金)
別府市教育部 教育政策課

食育とは・・・

近年、偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化しています。

こうした問題を解決する重要な役割を果たすのが食育です。

食育基本法、食育推進基本計画が制定され、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組んでいくことが重要となっています。



食に関する子どもの現状と影響

- 朝ごはん、食べていますか？
- みんなで一緒に食事をしてしていますか？
- 食べる時、あいさつをしていますか？



これらの現状は・・・？

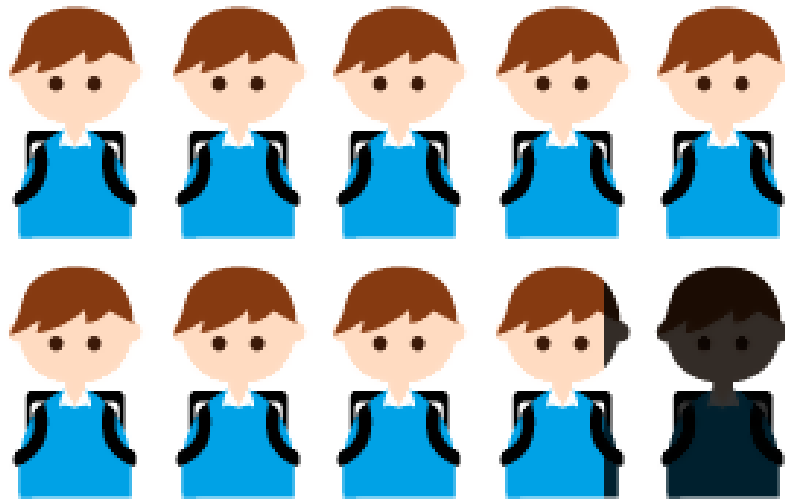
これらの食習慣がもたらす影響とは・・・



朝ごはんを毎日食べていますか？

朝ごはんを食べないことがある小中学生の割合は、小学校6年生で11%、中学校3年生では16%、朝食を食べていない子どもほど、学力・体力ともに低い傾向にあります。

小学生



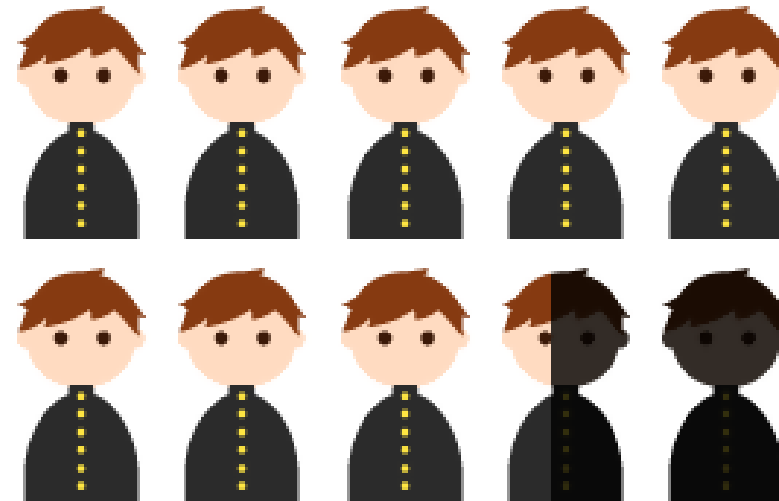
毎日食べている

89%

食べない事がある

11%

中学生



毎日食べている

84%

食べない事がある

16%

朝ごはんの影響（小学生）

朝ごはんを毎日食べている子に比べて、全く食べていない子は学力調査で—20%という低い数値が出ています。

朝ごはんは脳に学習させるためにも必要なエネルギーです。しっかりと食べることで午前中の授業の集中力が違います。

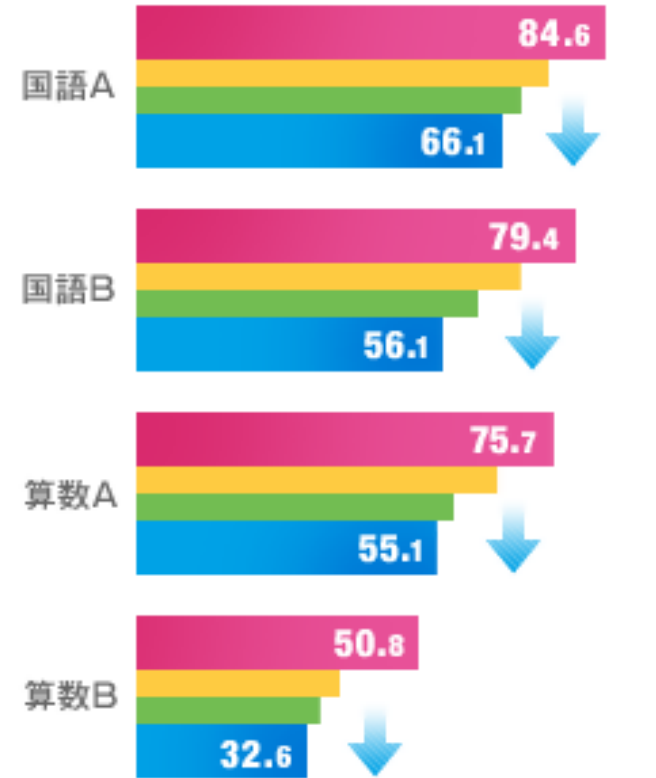
朝食の摂取と体力合計値との関係



■ 毎日食べる
■ 時々食べない
■ 毎日食べない

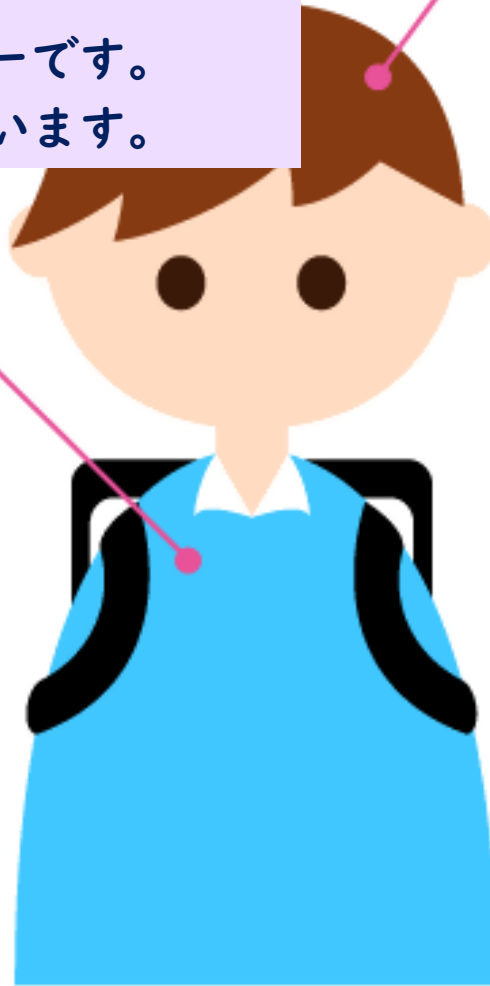
出典：平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係



■ 毎日食べている
■ どちらかと言えば、食べている
■ あまり食べていない
■ 全く食べていない

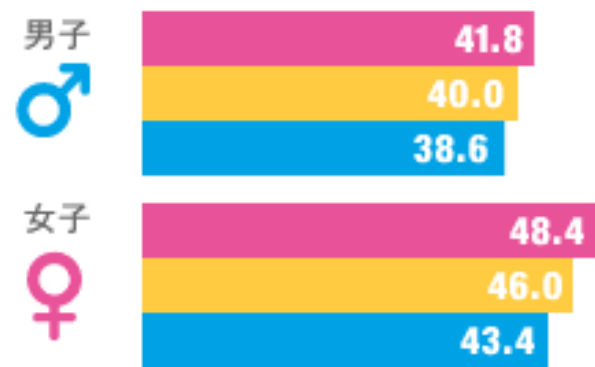
出典：平成22年度全国学力・学習状況調査



朝ごはんの影響（中学生）

朝食の摂取と学力調査の平均正答率・体力合計点との関係

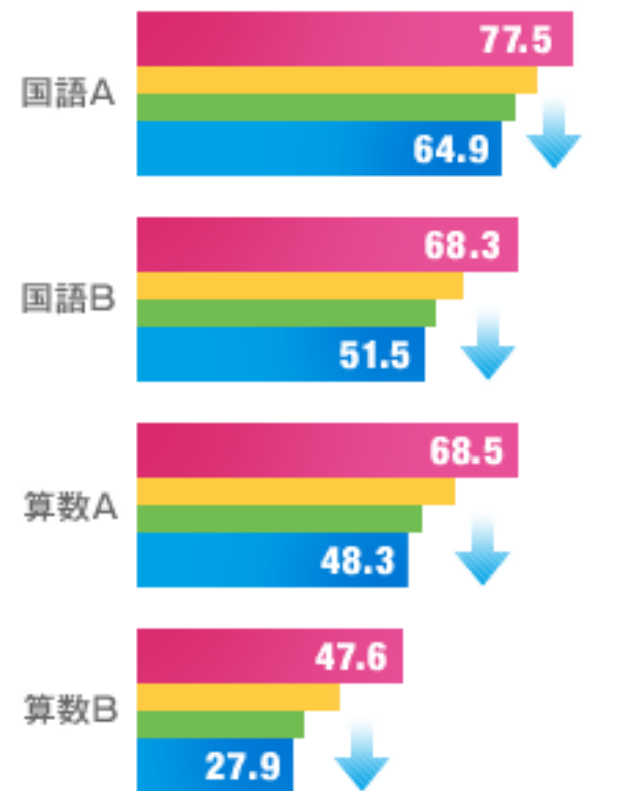
朝食の摂取と体力合計値との関係



- 毎日食べる
- 時々食べない
- 毎日食べない

出典：平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係

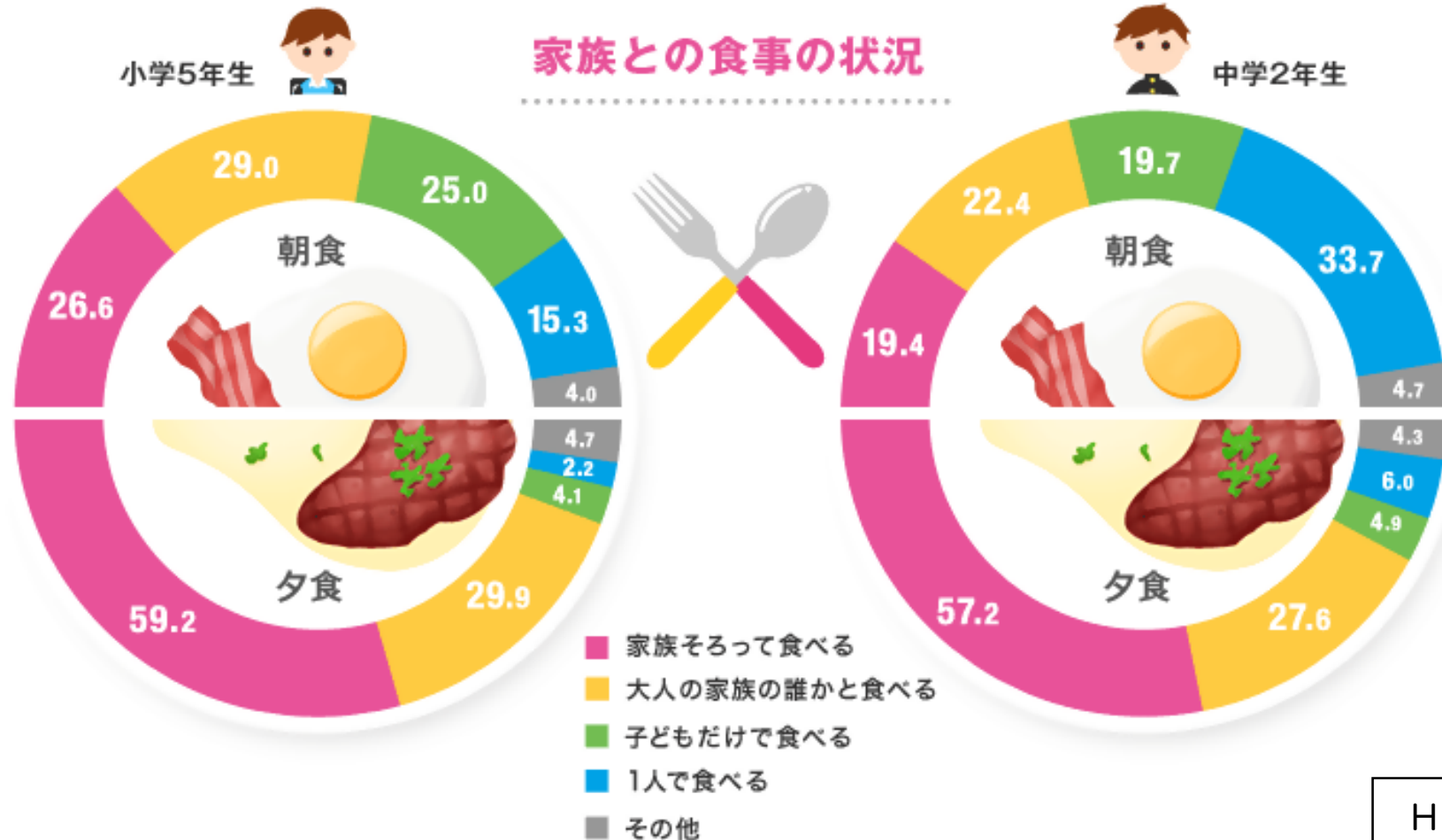


- 毎日食べている
- どちらかと言えば、食べている
- あまり食べていない
- 全く食べていない

出典：平成22年度全国学力・学習状況調査

食事を誰と食べていますか？

朝食を1人で食べている小中学生の割合は、小学校5年生で15.3%、中学校2年生で33.7%



家族との食事と心身の状況

「1人で食べる」こどもは、普段の生活でも疲れやすく、イライラすることが多い傾向が見られます。

家族との食事と心身の状況

※単位はすべて%

■ しばしば ■ ときどき ■ たまに ■ ない



朝食

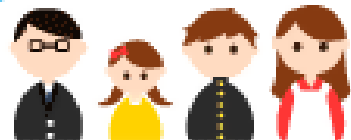


夕食

▼ 身体のだるさや疲れやすさを感じる時がある ▼



▼ イライラする ▼



家族そろって食べる子

▼ 身体のだるさや疲れやすさを感じる時がある ▼



▼ イライラする ▼



▼ 身体のだるさや疲れやすさを感じる時がある ▼



▼ イライラする ▼



1人で食べる子

▼ 身体のだるさや疲れやすさを感じる時がある ▼

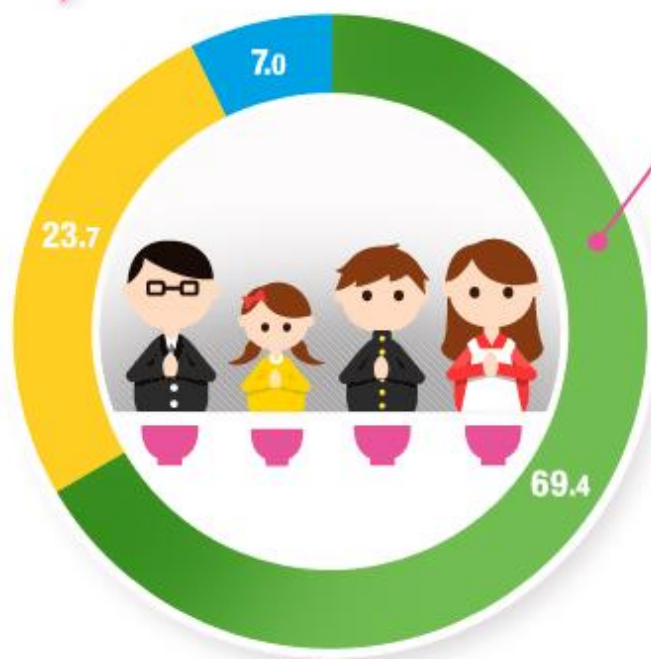


▼ イライラする ▼

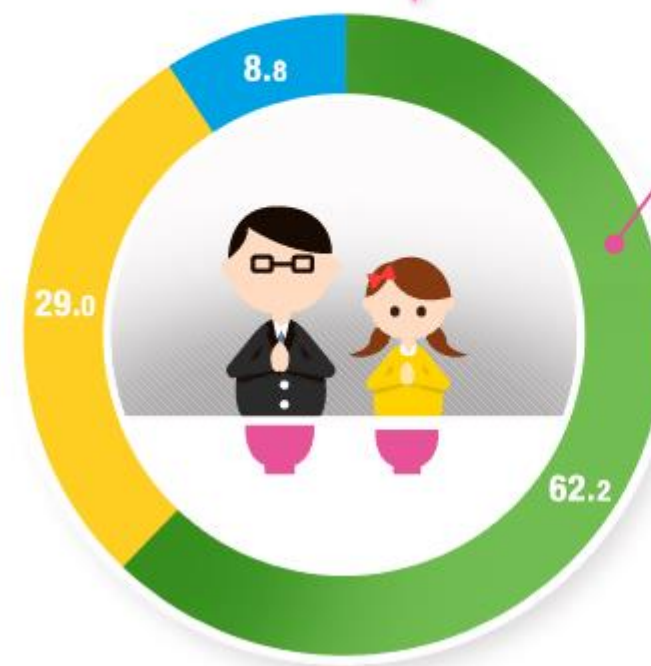
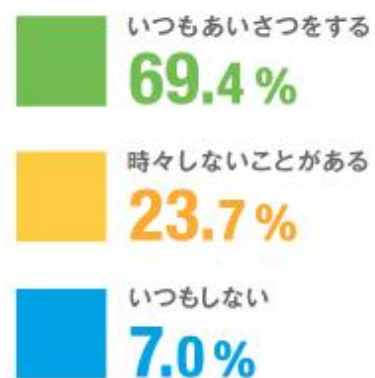


食事の際にあいさつをして食べていますか？

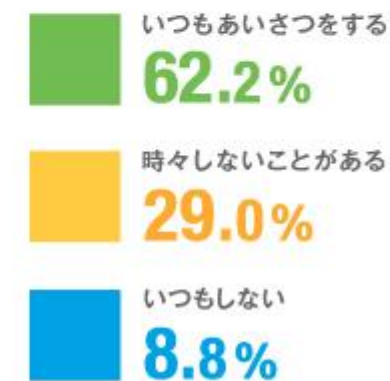
食べ物や食事を用意してくれた人に対する感謝の気持ちの「いただきます」「ごちそうさま」というあいさつと一緒に子どもだけ、自分1人になると減ってくる傾向にあります。



家族そろって食べる

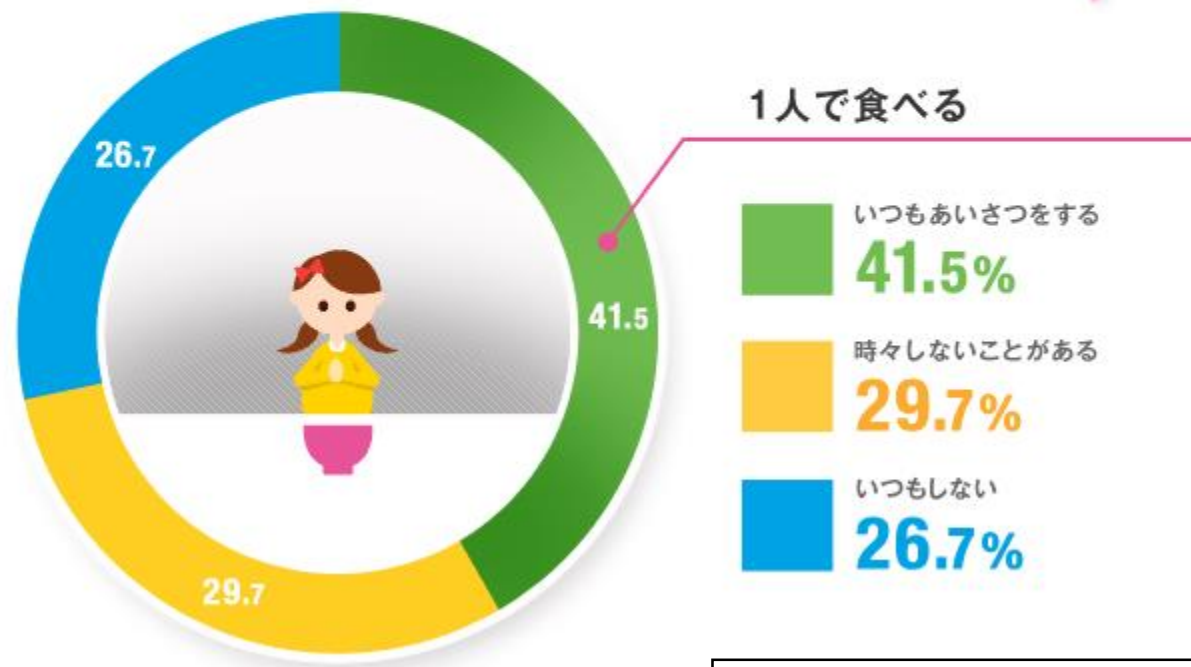
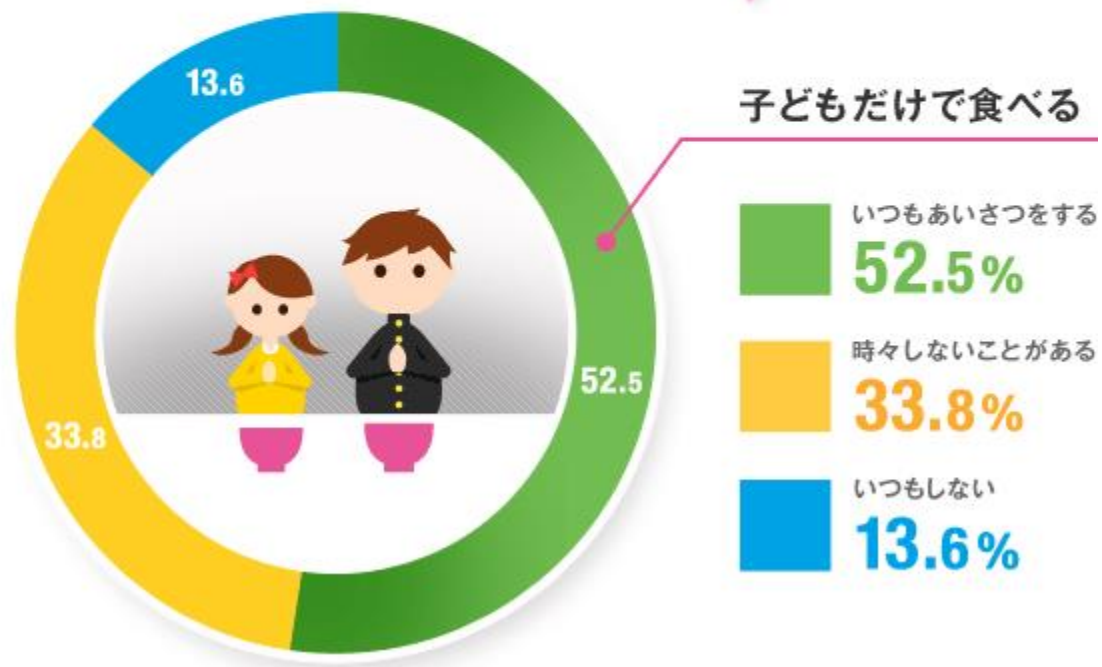


大人の家族と食べる



食事の際にあいさつをして食べていますか？

食べ物や食事を用意してくれた人に対する感謝の気持ちの「いただきます」「ごちそうさま」というあいさつが子どもだけで食べる、自分1人で食べる場合では減ってくる傾向にあります。



学校において「食育」が必要な理由

食育は、成長期にある子どもにとって健やかに生きる基礎を培うことを主な目的としています。

食育

=



家庭

+



学校

- ・生活の多様化が進む中で家庭だけでは十分な指導を行うことが困難
- ・教科や給食などの学校生活を生かした食育も必要

食に関する法令等

食育基本法（前文）

「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要である」とし、子どもたちの食育について、「心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである」としています。また、食育とは「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎ともなるべきものと位置づけるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」ことである。

食育基本法



食育推進計画



大分県食育推進計画



湯のまち別府健康21

【食育推進目標：よく食べ、よく生きる】

- ① 健康と食生活
食事マナーを身につけ、食生活を自己管理できる
- ② 食への感謝・関心
食べ物や人への感謝の気持ちを持ち、
地域の食文化を伝える
- ③ 食の安全と判断力
正しい知識を持ち、必要な食べ物を判断できる

別府市新学校給食共同調理場整備基本計画

《健やかな別府っ子を育む「質」の高い学校給食の提供》

～ 子どもたち、保護者や地域の方が活用できる学べる調理場 ～

- ① 子どもたちを取り巻く食の現状と学校給食の役割
偏食、朝食欠食、肥満・痩身などの改善につなげます
- ② 栄養教諭等の活用について
各学校の食育活動を支援する体制をつくります
- ③ 新共同調理場と各校における食育の取組
本市における「学校食育推進計画」を作成
給食を活用した食育活動を円滑に実施します

学校における食育とは

【学習指導要領】 平成29年に改訂

総 則：学校における食育推進明確に位置付け

具体的：各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な
学習の時間等に食育が加えられる

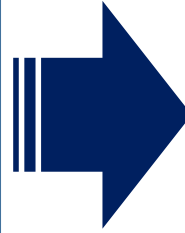


児童生徒の発達段階を考慮して、
学校教育活動として取り組むことが必要

学習指導要領
(文部科学省)

食に関する指導の手引
(文部科学省)

栄養教諭を中核とした
これからの学校の食育
(文部科学省)



別府市立学校における
食育推進計画
(今回策定予定)

食に関する指導の
全体計画・年間計画
の様式統一及び
作成の手引き作成
(令和3年11月)

教育課程の一部となる食に関する指導の全体計画・年間計画は
今回策定予定の「別府市立学校における食育推進計画」の一部となる。

学校における食育を推進するために

別府市教育大綱

《基本理念》 目指す人間像

- ◆ 自分らしく、しなやかに生きる自立した人
- ◆ 互いを尊重し、「ふるさと別府」を愛する人

学校における食育に関する考え方

- 食育は学校教育の一環である
- 教科や学校活動と関連づけ、教育委員会の方針をもとに各学校で計画して行うものである
- 食育は学校が主体となり、専門性のある栄養教諭や給食センターと連携を図りながら、学校給食を活用して行うものである
- 学校や給食センターは児童生徒を通じて、家庭や地域と連携を図りながら行うものである

学校における食育推進計画とは

【役割】食育分野における指導要領の位置づけとして計画

- ① 食に関する指導の計画を作成する際の各学校の指針となる
- ② 学校において教職員が食育を実施するための指針となる
- ③ 栄養教諭を市内で活用し、食育を拡充させるための考え方となる
- ④ 栄養教諭が教職員の食育を支援する体制を作り、教職員が容易に食育を行えるようになる
- ⑤ 自立を目指して、健やかな子どもを育成するための指針となる
- ⑥ 給食を通じて学校や給食センターが家庭及び地域とつながる指針となる

学校における食育体制のイメージ

小中学校

3者連携のもと、
学校が主体となって
食育を実施



学校給食
給食センター

教職員

栄養教諭等

家庭



連携

児童



生徒

連携

地域



別府市立学校における食育推進の概要

- ・ 別府市の子どもの実態
- ・ 目指す別府市の子どもたちの姿
- ・ 食育によって育むべき6つの力
- ・ 食育の充実のために実施すべきこと
- ・ 別府市立学校における食育の種類
- ・ 別府市立学校における9年間の食育計画
- ・ 家庭や地域が望む食育

別府市の子どもの実態

食に関する全体計画の児童生徒実態より（各学校調査）

- ・ 朝食を毎日食べる **86.6%**
(全国：84.5% 大分県：87.1%)
- ・ 苦手な食べ物を食べようと努力する **75.9%**
(別府市独自項目：昨年度より調査)
- ・ 肥満傾向 **10.0%**
(全国：9.9% 大分県：12.4%)
- ・ おし歯保有（完治含む） **40.6%**
(全国：37.6% 大分県：52.2%)

※ 全国・大分県数値は令和2年 本市数値は令和3年を参考

目指す別府市の子どもたちの姿

義務教育9年間を主体とし、その前段階の保育園・幼稚園から自立にいたるまでの期間の食育推進計画を策定いたします。

【食べる力】 = 【生きる力】 を身につけ、全ての基盤となる食育を整えることで学力・体力をさらに向上させ、豊かな心を持った人格の育成を目指したいと考えます。

食育によって育むべき力

【6つの視点】

- ・ 食事の重要性
- ・ 心身の健康
- ・ 食品を選択する能力
- ・ 感謝の心
- ・ 社会性
- ・ 食文化

- ① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する 【食事の重要性】
- ② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける 【心身の健康】
- ③ 正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける 【食品を選択する能力】
- ④ 食べ物を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ 【感謝の心】
- ⑤ 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける 【社会性】
- ⑥ 各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ 【食文化】

食育の充実のために実施すべきこと

学校給食
の充実

食育体制の
見直し

学校
栄養教諭
給食センター
の連携

各学校の
食に関する
指導の見直し

個別指導体制
の構築

給食指導の
充実

食物
アレルギー等
の対応

栄養教諭の
活用

家庭や地域
との連携

別府市立学校における食育の種類

子ども自身が考え実施する食育

家庭や地域を通じた食育

各学校で実施する食育（教科・行事）

栄養教諭を通じた食育

給食センターを通じた食育

給食を通じた食育

基本的食育

各学校
で計画

市内共通
で計画

家庭・地域が望む食育



学校・栄養教諭・給食センター



家庭
地域



- ・ リクエスト給食の実施
- ・ 子どもたちが楽しめる給食の実施
- ・ 子どもが考えた献立の実施
- ・ 新メニューを募集する給食コンテストの実施
- ・ 給食センターの公開
- ・ 栽培、収穫体験
- ・ 栄養教諭等の講座や相談会
- ・ ICTを活用した指導 など

別府市立学校における食育推進計画 の基本方針について

別府市立学校における食育推進計画の

基本方針について、ご意見をお願い致します。